

実践力の育成のために

【社会奉仕体験活動】 地域ボランティア

「朝の地域清掃活動」

本校はアーケード商店街と隣接しており、日頃から様々な支援をいただいています。それに対して学校ができることはないかと、平成25年度から始まったのが、7時30分からの毎朝の清掃活動です。ボランティア部や特別支援学級の生徒、生徒会役員、他有志の生徒が参加しています。地域の方々から「ありがとう」「寒い中ごくろうさま」など、声を掛けていただくこともあります。中学生であっても地域の一員であるという自覚をもつきっかけになるとともに、地域の方々と中学生、そして各学級と特別支援学級の生徒の交流の機会にもなっています。この活動を通して、自他の価値を尊重しようとする意欲や態度を育てています。

令和元年度には東京都から「共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」の特別賞を、令和4年度には「日本善行会春季善行表彰」をいただきました。



「募金活動」

荒川区社会福祉協議会と連携し、荒川区社会福祉協議会前や隣接する商店街で、令和4年8月上旬からの日本全国での集中豪雨被害義援金・支援金募金などのボランティア活動を行いました。毎学期2回、生徒会主催でユニセフ募金活動も行っています。

生徒の変容

- ・中学生でも地域に協力し、貢献できる活動があることを実感し、達成感を得ることができました。
- ・地域で暮らす方々や、地域で実施している行事についての理解を深めることができました。

【特別活動（学校行事）】 人権講演会

人権課題「障害者」に関わる取組（普遍的な視点からの取組）

「バリアフリー・ユニバーサルデザインについて」

講師：竹島 恵子 様

（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）

バリアフリーについて、具体的な事例や映像を通して御講演をいただきました。また、ユニバーサルデザインについては、様々な製品にある工夫が、どんな目的のためにあるのかを学び、自分たちの身近なところにもあることを知り、理解を深めることができました。講演を通して、障害は外見で判断できるものではなく、社会には外見からは判断できなくても困っている人がいるということに気づき、自分にできることを見付けたいと考えることができました。



生徒の変容

- ・身近にある製品の工夫や障害のある方への配慮に気づき、他者への理解を深めることができました。